

「サステナビリティレポート2009」の概要（掲載項目順）

1．トップコミットメント（6～7頁）

現代社会において欠かすことのできない電気を、安全に安定的にお届けするという東京電力グループの最も重要な社会的責任に加え、低炭素社会の実現に向けた取り組みについて、社長のメッセージを掲載しております。

2．特集「電化が切り拓く低炭素社会」（8～9頁）

低炭素社会を実現するためのカギは「電化」であり、エネルギーの供給側（つくり方）・需要側（つかい方）の両面による一体的な取り組みが必要不可欠であるということ、低炭素社会のイメージ図を用いて説明しております。

3．安定供給編「サステナビリティの実現に向けて」（12～19頁）

エネルギーを取り巻く「安定性」「環境性」「経済性」のバランスを考慮して電源を組み合わせる「電源のベストミックス」や、信頼度の高い電気をお届けするための取り組みについて報告しています。

また、柏崎刈羽原子力発電所の停止に伴う当社の経営や環境への影響、復旧に向けた取り組みの現状についても報告しております。

4．経営編「東京電力の経営について」（20～27頁）

当社における事業運営の核となる、経営マネジメントやリスク管理、新型インフルエンザに対する取り組みなどについて報告しております。

5．環境編「東京電力グループの環境への取り組み」（28～51頁）

京都議定書第一約束期間における初年度の報告であり、読者の皆さまからの関心が一層高まっている「地球温暖化対策」について、「電気をつくる、つかう」の両面から取り組みを報告しております。

6．社会編「東京電力グループと社会との関わり」（52～67頁）

お客さまや地域社会の皆さまをはじめとした、当社を取り巻く方々との関わりについて、具体的なコミュニケーション活動を報告しております。

7．原子力編「東京電力と原子力発電」（68～73頁）

災害に強く安全・安心な原子力発電所の構築や原子燃料サイクルの確立に向けた取り組みなど、原子力に関わるトピックスを中心に報告しております。

8．2008年度のCSR活動と2009年度の展開予定（74～75頁）

活動をより充実させるために、各分野の取り組みをCSRの観点から整理しており、2008年度の目標・実績と2009年度の展開予定について報告しております。

9．第三者意見（76～77頁）

新潟県中越沖地震後の当社の取り組みや地球温暖化対策、サステナビリティへの取り組みについて、社外有識者により構成される「東京電力環境顧問会」からいただいたご意見と、当社の回答を紹介しております。

以上